

はじめに

「住まいとコミュニティづくり活動助成」は、平成4年度に事業を開始し、本報告書の平成18年度で14回を数えます。NPO・市民活動は、良好な社会形成のためにますます重要な役割を果たすようになってきました。

今回（平成18年度）の募集から、これまでのプログラム（一般助成）に加えて、特別助成というプログラム（活動の中に収益性のある事業を導入することで、財務基盤を安定させ継続的に活動していくことを支援するもので、複数年の助成期間を設けている）を募集しました。このうち、一般助成には全国から113団体ものご応募をいただき、10団体が助成対象団体として選ばれました。活動対象地域を見ますと、東京都など大都市圏の団体が多いのですが、各地域において取り組みが着実に根づいていることも感じられます。なお、本報告書では、この一般助成対象団体の活動報告を掲載しております。

これまでと同様、助成対象団体に自らの活動を振り返って書いていただいた原稿を基に編集しています。これは現場の生の声を読者の皆様にお伝えすると同時に、助成対象団体には客観的な視点で自らの組織・活動を振り返っていただく機会とするためです。当財団としても、実際に活動をされている方々の声と真摯に向き合い、よりよい助成プログラムの構築に努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、原稿を執筆していただいた10団体のメンバーの方々、当助成事業の審査にあたられた選考委員の方々に厚くお礼申し上げます。

平成19年8月

財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

助成対象団体活動報告

1. だがしや楽校 だがしや倶楽部	7
2. K O P A (冒険遊び場と子育て支援研究会)	13
3. 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス	21
4. 赤い三角屋根の会 (国立駅舎を活かす会)	31
5. 特定非営利活動法人ユニバーサルデザインながの	39
6. 特定非営利活動法人ほのぼのステーション	47
7. 住みコミュニケーションプロジェクト	53
8. まちなか・子ども基地運営委員会	59
9. 熊本まちなみトラスト	65
10. 特定非営利活動法人まちづくりサポート隊	73

助成事業を振り返って

・ 歩き、見、聞き、書くこと ～活動団体への現地訪問を通して～	山田 絵美	84
・ 助成活動と気になる話題	西野 聖子	86
・ 子どもの居場所づくりから思いをはせて	大内 朗子	89
・ 再び、時間と人との親しい関係	吉野 裕之	94

参考資料

・ 公募内容	99
--------------	----